

平成23年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その1)

施策体系コード	4-4-2		事業名	雨に強いまちづくり
担当	建設局下水道河川部下水道計画課 西村 TEL 818-3441			
全 体 計 画				
事業内容	大雨による水害から市民生活を守るため、白石区平和通地区周辺の雨水を一時的に貯める下水道管(貯留管)を整備する等、下水道と河川が一体となって、雨に強いまちづくりを進める。		＜年度別の事業内容＞	
			19年度	豊平川雨水貯留管および雨水分水施設の基本設計
			20年度	豊平川雨水貯留管および雨水分水施設の実施設計
			21年度	豊平川雨水貯留管および雨水分水施設の新設工事
			22年度	豊平川雨水貯留管および雨水分水施設の新設工事
事業内容・量・場所・規模・件数等	平成19年度事業内容(決算)		平成20年度事業内容(決算)	
	○豊平川雨水貯留管および雨水分水施設の基本設計		○豊平川雨水貯留管および雨水分水施設の実施設計	
	平成21年度事業内容(決算)		平成22年度事業内容(決算)	
	○豊平川雨水貯留管および雨水分水施設の新設工事		○豊平川雨水貯留管および雨水分水施設の新設工事(継続)	

平成23年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その2)

施策体系コード	4-4-2		事業名	雨に強いまちづくり		
達成目標の状況						
項目		18年度末 (現 状)	19年度末 (実 績)	20年度末 (実 績)	21年度末 (実 績)	22年度末 (目 標)
豊平川貯留管の整備進捗率(累計)		—	—	1%	1%	21%
市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況)						
<p>■市民との連携、市民参加 パンフレットの配布、インターネットホームページや下水道科学館の活用等により、雨に強いまちづくりについて、下水道と河川が連携して情報提供を行っている。また、モニター制度、市営企業調査審議会等により市民意見の収集、情報の共有化を図っている。</p> <p>■企業等との連携・協働 [資金協力] [人材協力] [情報協力] [その他の協力]</p> <p>■市民・企業等が参加しやすい環境づくり</p>						
評 価 (成 果)				課 題		
<p>浸水対策だけでなく、合流式下水道の改善にも有効に活用できる豊平川雨水貯留管の工事に着手した。</p>				<p>近年の都市化の進展や局地的な集中豪雨の発生により、一部の地区で浸水が発生している。今後もさらに都市化が進展することにより、浸水の危険性がさらに高まる恐れがあり、雨に強いまちづくりを着実に進めていく必要がある。また、効率的、効果的な対策を進めるため、雨水排除による手法に加え、雨水の流出抑制や河川との連携も含めた対策について、検討を進めていく必要がある。</p>		
今 後 の 事 業 の 予 定 ・ 方 向						
<p>豊平川雨水貯留管については、近隣住民の理解と協力を得ながら整備を進め、26年度からの供用開始を目指す。雨に強いまちづくりについては、今後も下水道と河川が一体となって対策を進めるとともに、市民、企業との協働による雨水の流出抑制を図っていく。</p>						

平成23年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その3) (単位:千円)

施策体系コード		4-4-2		事業名	雨に強いまちづくり		
事業費の推移							
項目		19年度	20年度	21年度	22年度	計	
計画	事業費	0	38,000	231,000	628,000	897,000	
	財源内訳						
	国・道支出金	0	16,000	93,000	251,000	360,000	
	市の債	0	21,000	127,000	346,000	494,000	
予算	事業費	7,844	37,217	200,226	575,171	820,458	
	財源内訳						
	国・道支出金	0	10,649	80,290	253,635	344,574	
	市の債	7,844	24,768	100,204	285,751	418,567	
実績	事業費	2,489	36,969	14,066	427,262	480,786	
	財源内訳						
	国・道支出金	0	14,041	0	197,173	211,214	
	市の債	2,489	18,334	11,981	210,118	242,922	
	その他の他	0	4,594	2,085	19,971	26,650	
	一般財源	0	0	0	0	0	
事業費の進捗率		(H19実績+H20実績+H21実績+H22実績) / (計画事業費)				53.6%	
計画との差異(予算・実績・事業内容・規模・時期等)							
《全体》							
[19年度] 合流改善、雪処理施設との併用利用による施設構造の概略について検討を行うため、豊平川雨水貯留管および雨水分水施設の基本設計を行った。							
[20年度]							
[21年度] 豊平川雨水貯留管に関する地元住民への説明会に期間を要し、工事発注が当初より遅れたため差異が生じた。							
[22年度] 豊平川雨水貯留管に関する工事の落札率が低かったため差異が生じた。							